

ROKKOZAN 鹿工山

生徒指導部便り
2022. 4. 22
No. 5号



何のため？誰のため？

先日、鹿児島県内はついに800人を超える新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認されました。特に鹿児島市内では感染者が減らず、逆に増えている状況です。本校でも、これまで以上にマスク着用や消毒、黙食の徹底を図り、昼休みには先生方に教室や食堂についてもらい黙食指導等に取り組んでいます。部活動においても自主的に停止期間を各部活動で設けているほか、練習の形態やメニューに工夫をすることで感染拡大や封じ込めを図る努力を行っています。とにかく、あらゆる手段を講じ、工夫をしながら現在まで来ているのが現状です。

では、こういった取組は学校や先生方が気を付けることで改善が図られていくのでしょうか？その答えは**NO**です。鹿工生自身がさらに意識を高めていかなければなりません。すでにそこに気づき、実践している生徒もいると思います。ですが、残念ながらその努力の意味をわかっていない、感じていない生徒がいるのも事実です。例えば部活動を自粛するのはなぜなのか、そうならないためにどのように行動するのが適切かしっかり考えていますか？

今の状況を打破するためには、生徒一人ひとりが自覚を持って、これまで以上に危機感を持って行動するほかありません。鹿工は1000人を超える大規模校ですから、1人、2人意識するだけでは変わっていきません。500人、600人と大きな渦になるような人数で束になって取り組んでいかなければ全体に影響を与えることはできないと思います。所属しているクラス、そして各部活動で主体的に取り組むことこそが、この危機を乗り越える鍵となるはずですが、今一度感染症対策の徹底に取り組んでいきましょう！そして、この困難を乗り越え、大きな挨拶と笑顔の絶えない「明るく元気な学校」を全員で取り戻しましょう！協力をよろしくお願いします。

『iとi』

わたしたちは、「今」を更新していく。

確かなことは、わたしたちは一度も止まってなんかなかったということ。

今ある日常は、誰かを守り、守られることでできている。

誰かを思う行動は、かっこいい。

人生で1番新しい、今日の為に繋いでいこう。

今、生きている。

わたしたちの希望の為に。



増田彩来

映像作家 写真家

<https://corona.go.jp/together/>